

平成27年度「提案公募型事業」申請書類(2)
<受託申請書>

ふりがな 団体名	にしつきじがくくニドモかいれんごうかい 西築地学区子ども会連合会						
ふりがな 代表者名	まさご たかのり 真砂 孝徳						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	<input type="radio"/>	【○】心地よく安心な港まちで暮らす		公募要領の 「2委託対象 事業」を参照			
	<input type="checkbox"/>	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
	<input type="checkbox"/>	【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	ワクワク！何ができるかな～ (親と子の陶芸教室 食育)						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	8	5	1	8	5	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成27年6月1日～平成28年2月28日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

- 西築地学区は子どもの数が増えているにもかかわらず、子ども会への参加は減っている。子ども会では、このような行事を行っていることを、49人の人に知ってもらい参加していただきたい。
- モノ作りの愛知県と言われるように、愛知県内には数々の伝統的なものがあります。そのなかでも、特に陶芸は全国的にも有名であり、その素晴らしさを子ども達に伝えたいと思います。また子ども達に焼き物の魅力・モノ作りの楽しさ・面白さ・親子でふれあう楽しさ・手作りの感動を味わっていただきたい。
- 普段口にしてるモノがどのような工程で作られているのかを見学することで「食」への興味・関心を育み、食の楽しさを知るきっかけづくり

(2) 事業の概要

平成28年2月の日曜日 午前8時45分～午後4時30分
愛知県 常滑市 ・常滑焼まるふく まるふく陶芸教室にて
・場所 現在調整中 醤油-味噌醸造元などの見学

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

- ・愛知県の伝統工芸でもある常滑焼を作る事によって、自然に親しむ心を大事にしたいという思いから、土をこねることから始め、形作り・色づけ・焼くという作業工程を体験する。
親子参加という条件で、親子のふれあいの場になればいいと思います。
- ・現在、「食育」が注目されています。
普段口にしているものが、どのような工程で作られているのか、知らない子どもも多いです。工場見学をすることによって、加工される前の原料を見たり、それが商品になっていく様子を実感することで、食に関する意識も高まり、家庭での食の体験につながったり、食卓での会話も広がると思います。
- ・西築地学区子ども会連合会は、今年度で60周年を迎えます。
これに伴い、会員が集まることで、他の親子との交流も生まれ、今年度の活動参加にも繋がると思います。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

- ・実施日 平成28年2月の日曜日 (日にち調整中)
- ・実施場所 愛知県常滑市原松町6-66-1 常滑焼まるぶく
現在調整中 醤油-味噌醸造元などの見学

3. 想定参加者人数・参加者層

- ・想定参加者人数 親子で100名
- ・参加者層 小学生の親子

(4) 広報手段

- ・ ポスターの掲示
- ・ フラシの配布 (参加募集) 小学校で配布

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

平成27年11月頃 (日にち未定)	会場下見
平成27年12月上旬	参加募集
平成28年 2月	イベント実施

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

会長	真砂孝徳 (総責任者)	
運営委員	加納栄里子 安田 恵 小笠原志のぶ	
会計	坂本奈穂子	
当日運営スタッフ	岡田真紀 鈴木美穂 小村ゆう子	村井敏江 寺本敏子 鈴木一彦
		<u>計 11人</u>

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

実施場所・日時の仮交渉をすませており、従来の事業の経験からも、問題なく実施できるものと考えている。

(2) 積算の妥当性

- ・ 団体割引の使用
- ・ 2月のシーズンオフということで、バス代も安価で抑えられている。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・ 多くの親子にモノ作りの楽しさ・魅力・感動を味わってもらい、伝統工芸を受け継いでもらえるようにしたい。
- ・ 親子の会話も自然と増え、今まで会話をしていなかった方々との交流の場になると思います。

(4) テーマとの整合性

- ・ 子どもの数が少しずつ増えてはきているが、親の理解不足による活動参加が減少している状況である。
子ども会の活動を広め、親子のふれあいとなる様々なイベントに参加し、地域との関わりを多くしていくことで、参加者も増えることにより、多くの者と交流する機会となり、孤立を防ぐ。

(5) 将来性

今年度も継続していくことで、新1年生の親子の参加もしやすい状況となり、活動している情報も楽に伝わることで、現在休止している子ども会も復活する機会になればと願う。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金							0円
②旅費交通費	2	7	1	2	0	0	円
③会議費		1	2	0	0	0	円
④物品購入費	1	0	5	0	0	0	円
⑤借上料							0円
⑥保険料		3	9	0	0	0	円
⑦人件費		5	5	0	0	0	円
⑧委託外注費	3	1	3	6	5	0	円
⑨通信費							0円
⑩印刷製本費		5	0	0	0	0	円
⑪事務費等		6	0	0	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)		8	5	1	8	5	0円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	
0円	
②旅費交通費	(下見) バス代 75,600円, 高速代 2,000円, 駐車場代 2,000円 (当日) バス代 183,600円, 高速代 4,000円, 駐車場代 4,000円
271,200円	
③会議費	当日までの打ち合わせ お茶代 2,000円 x 6回 12,000円 (400円 x 5人)
12,000円	
④物品購入費	(下見) 弁当代 500円 x 15人 7,500円, x場料(天) 500円 x 15人 = 7,500円 (当日) 弁当代 500円 x 100人 50,000円, x場料 (天) 500円 x 50人 = 25,000円 (天) 300円 x 50人 15,000円
105,000円	
⑤借上料	
0円	
⑥保険料	保険代 300円 x 130人 39,000円
39,000円	
⑦人件費	当日スタッフ人件費 5,000円 x 11人 55,000円
55,000円	
⑧委託外注費	(下見) 陶芸材料費 1450円 x 15人 21,750円 乗務員・バスガイド 経費 送料 760円 x 15人 11,400円 37,400円 (当日) 陶芸材料費 1450円 x 110人 159,500円 送料 760円 x 110人 83,600円
313,650円	
⑨通信費	
0円	
⑩印刷製本費	チラシ・ポスター 作製費 500部 45,000円 (デザイン料 含む) 写真現象代 50円 x 100枚 5,000円
50,000円	
⑪事務費等	コピー代(当日集約等) 100枚 x 20円 2,000円 ペニ 紙) 1,000円 インク代 3,000円
6,000円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
851,850円	

(様式1) 参加費を徴収する事業の方は以下の項目も必ず記入し、ご提出ください。

【徴収される参加費に相当する事業費】

(1) 収入の部

徴収する参加費の内容	単価(円)	人数(人)	合計(円)
参加者昼食代 (当日)	500	100	50,000
参加者昼食代 (下見)	500	15	7,500
収入合計	500	115	57,500

(2) 支出の部

品目・内容	単価(円)	個数/人数	合計(円)
昼食代 (当日)	1,000	100	100,000
昼食代 (下見)	1,000	15	15,000
支出合計	1,000	115	115,000

参加費を徴収する場合の注意点

- 参加費は、事業実施において必要な材料費等の実費分のみとします。参加費で充当される予定の支出品目については、委託金の中に含めて請求することはできませんので、ご注意ください。(充当する予定の支出項目については、上記「(2)支出の部」に記入してください。)
- 収入に関する証明書を精算時に提出していただきます。参加者リストを作成するなどして、人数等が客観的に把握できる資料を作成してください。